

平成30年度事業報告書

平成30年4月1日 から 平成31年3月31日まで

特定非営利活動法人 大地

1 事業の成果

当年度も引き続き、障がい福祉サービスの質、及び利用者の工賃向上を目指し活動を行った。

就労継続支援B型事業では、生産活動として、従来より行ってきた農業生産、菓子製造、受託事業等を継続して実施した。また、当年度よりパンの製造販売を本格化した。

農業生産では、白ネギ生産の強化を目指し、出荷設備の整備やJAへの加入を行い技術指導を受ける等、生産技術の獲得に努めた。その結果、前年度比約2.5倍の出荷量を達成した。一方で夏季の酷暑による生育不良やその後の需給バランス悪化による市況価格の低下により、農産事業全体としては当初見込んだ利益を上げる事ができなかった。

菓子製造は、引き続きヴィステひえづの喫茶「くつろぎカフェいちご」での販売を中心に行ってきた。販売開始当初から安価での提供に努めていたが、原材料費の相次ぐ値上げに対応せざるを得なくなり、1月より順次価格の改定を行った。併せて商品の内容やパッケージの見直しを実施し、商品としての満足度や安全性の向上に努めた。

受託事業では、10月より「ピザポケット米子店」からの委託により、広告紙に割引券を留め付ける作業を開始した。手先を使う繊細な作業ではあるが、専用道具を開発し環境を整えた事で、利用者に概ね受け入れられている。また、日吉津村委託による「ヴィステひえづ」館内清掃と、「伯耆のきのこ」委託によるキクラゲ調製作業を引き続き実施した。

また当年度は新事業として、パンの製造、販売を本格的に開始するため、製造設備の導入と、経験者の技術指導を受け商品の研究・開発を行った。まず「くつろぎカフェいちご」にて毎週水曜日を「パンの日」として販売を本格化し、定着しつつある。

生活介護事業においては、引き続き「生産活動」と「余暇活動」を組み合わせたプログラムにより支援を行っている。月に1度、音楽や楽器を使い体を動かす「音楽活動」を実施し、利用者の身体機能や心身の健康の回復、向上を図っている。

また、就労継続支援B型事業の開始以前より「ピア・サポート事業」として継続して行ってきた「絵てがみサークル」は、法人の事業規模拡大に伴い、職員配置や事業内容の見直し等により、当年度をもって終了する事とした。

30年3月末時点での登録者数は就労継続支援B型18名、生活介護4名。年間平均利用者数は就労継続支援B型12.2名、生活介護0.9名。平均月額工賃は12,218円（就労継続支援B型）となった。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	支出額(千円)
障害者総合支援法に基づく自立支援給付事業	障害者総合支援法に基づく就労継続支援B型・生活介護サービス事業	常時	いちごの広場	12人	利用者約21人	28,619
生産、販売事業	農業生産物、焼菓子、パン、手工芸品等の販売	常時	いちごの広場及び県内	12人	利用者約21人 一般消費者	5,019
受託事業	ヴィンステひえづ喫茶営業及び清掃業務、広告紙の丁合い、キクラゲ調製作業、苗箱洗浄、日吉津村指定ごみ袋販売	常時	いちごの広場及び日吉津村内	12人	利用者約21人 委託関係者	10
障害者福祉及び人権に関する啓発、研修事業	ピア・サポート事業「絵手紙サークル」	毎月1回 土曜日 (計12回)	いちごの広場及びヴィンステひえづ	40人	利用者 一般参加者 延べ約180人	20

(2) その他の事業

実施なし

(備考)

- 2の(1)については、事業毎に事業名、事業内容、実施日時、実施場所、従事者の人数、受益対象者の範囲及び人数並びに支出額をそれぞれ記載する。
- 2の(1)のうち、「受益対象者の範囲及び人数」の欄には、具体的な受益対象者及び人数を記載する。
- 2の(2)については、事業毎に事業名、事業内容、実施日時、実施場所、従事者の人数及び支出額をそれぞれ記載する。
- 2の(2)については、定款上「その他の事業」に関する事項を定めている場合は、当該事業年度に実施しなかった場合も「実施しなかった」旨を記載する。